事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和６年３月２５日　　事業所名　　どんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・定員 10 名の設置基準は指導訓練室 24.7 ㎡遊戯室 16.5 ㎡ どんぐりは、１階の訓練室 62.1 ㎡２階の遊戯室 60.86 ㎡を確保している	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・定員 10 名の場合、職員配置は２名となるが､加配加算を取得し職員を４名配置している	
	③	生活空間は､本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・構造化している。また常に構造化ではなく一般の生活にも近づけられるよう､オープンなエリアも意識して作っている ・個別エリア等､活動毎のエリアを設けることで､何の時間か理解でき､行動しやすいようにしている	・今後も環境の見直しを行い、より良い環境を作っていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・消毒を課題、机、椅子を毎日行い、玩具は週に１回行っている	・より効果的な物等があれば導入する
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・支援プログラムや業務の効率化等のための話し合いを日々行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により､保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・当アンケートで頂いた保護者からのご意見に応えられるよう取り組んでいる	・今後もアンケートを継続し､ご意見･ご要望にお応えできるようにしていく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ､事業所として自己評価を行うとともに､その結果による支援の質の評価及び改善の内容を､事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・ホームページでの公表とアンケート結果を玄関に掲示している	
	⑧	第三者による外部評価を行い､評価結果を業務改善につなげている	3	1	・スーパーバイザーによる支援の助言(評価)を受けている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために､研修の機会を確保している	5	0	・週に１回､スーパーバーザーによるスーパーバイズを受けている ・内部研修及び外部研修に参加、文献などを読んで日々勉強している	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・年に２回面談を行い、家庭の様子を伺いながら作成している	・更に具体的な児童発達支援計画を立てていく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・Ｔクラック、Ｔクルバック、ABA に基づいた ABC 分析など、必要に応じて適切なアセスメントシートを使い分けている ・他の療育機関や医療機関での検査結果も参考にしている	・今後も必要なアセスメントシートを活用していく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・目標行動一覧を作成し、具体的な支援内容を設定し、評価も行っている	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・記録表を作成し実施している	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・職員全員で行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・子供たちが安全かつ楽しめる活動を行っている	飽きがこないよう、色々なプログラムや道具を考えていく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・個別と集団の活動をそれぞれ行い、計画（活動の組み合わせ）を作成している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎朝、職員朝礼で確認し、変更事項を職員間で周知している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・毎日の終礼後にフィードバックを行い、次の日に向けて変更し内容も共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・一人一人に応じた記録作成を徹底し、必要に応じてデータ分析をしている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・3 ヶ月、6 ヶ月毎に職員全体で全員分行っている	
関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・管理者や児童発達支援管理責任者が参加している	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・行政と連携しているケースもある	

者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・対象となる子どもが利用をされていないため非該当項目とする	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・書類を作成したり、保護者用に作成した資料を共有してもらったりしている	・更に連携の取れる関係性を構築していく
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・書類や会議等で情報共有している	・支援内容等の相互理解を深められるよう、今後も努めていく
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	・定期的に行われている。 ・ネットワーク会議に参加している	・今後も参加する
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	・交流や一緒に活動する機会は持てていない	・現時点で交流は検討していない
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	・参加できる時はしている	・今後も積極的に参加したい
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・送迎時、連絡帳、電話対応を行っている	十分に行えていない保護者とは今後そこの向上も必要
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	・一緒に考えさせてもらうスタンスで行っている	・成長の段階で新たな課題に直面することがあるが、ご家族と一緒に考えさせて頂き、乗り越えた喜びを分かち合いたいと思い日々支援をしている
保護者への説明責任	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に契約書及び重要事項説明書の内容を説明している	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・個別面談時に説明を行い同意を得ている	

等	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・面談や送迎の時、連絡帳で様子をお聞きして助言など行っている	
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・以前は行っていたが、コロナ以降開催できていない。必要性は感じている	・次年度は開催したい
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・申し入れがあった場合はすぐに話し合いを行い対応している	・こちらからご提案させて頂くこともある
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	・インスタグラムで子供たちの様子をあげている	・最近、回数が減っているので、定期的に載せていく
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・保護者とは連絡帳を通して行う事が多い	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	・地域行事に参加しているが、招待するような行事はできていない	今後も参加していく
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	・各マニュアルは策定している。 ・避難訓練を定期的に実施しているが保護者への周知は行っていない	
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・地震と災害の避難訓練を半年毎に行っている	
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・契約時に確認し、変更の都度確認している	・必要に応じて予防接種の確認も行う
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・主に保護者に指示して頂き対応させて頂いている	
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・全体で作成しているため共有できている	
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・年に１～２回研修を行っている ・子供たちが適切に意思表示できるよう支援している	
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・契約時に説明している ・現在、記載している事例がないが、あれば組織的に対応していく	・筑紫会虐待防止規程に則った対応を行う

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。